6月は環境月間です

「ＥＣＯライフ」
～一人ひとりの活動が地球を守ります～

地球温暖化は、町だけの問題ではありません。皆さん一人ひとりの小さなECO活動が大きな力となり、地球温暖化防止の一助となります。
これから電力消費がピークとなる夏を迎えます。
環境にやさしい「ECOライフ」を実践しましょう！

「ＥＣＯライフ」に取り組んでみよう！

- 使っていない電気は小まめに消しましょう。
- 冷房は28度を目安にしましょう。
- 冷蔵庫は詰め込みすぎないようにしましょう。
- 電化製品の主電源を切り、待機時消費電力を減らしましょう。
- ＬＥＤ照明を使いましょう。
- みどりのカーテンを育てましょう。
- シャワーや水道の出しっ放しは止めましょう。
- 洗濯にはお風呂の残り湯を利用しましょう。
- 自動車の利用は控えるようにしましょう。

☆「もったいない」の気持ちで実践すれば、「環境」だけではなく、「家計」にもやさしい取組みです。

問　環境美化センター　☎(72)4438

ダイオキシン類測定調査結果

町では、ごみ焼却施設のダイオキシン類の排出実態と周辺環境への影響を把握するため、毎年、焼却施設の排ガス及び焼却灰、焼却施設周辺環境のダイオキシン類濃度を測定しています。昨年度の結果は下表のとおりでした。

焼却施設

〈排ガス〉　単位：ng-TEQ/ N㎥

	25年度	24年度	23年度	規制値
１号炉	0.017	0.019	0.097	1.0
２号炉	―	0.0017	0.064	

〈焼却灰〉　単位：ng-TEQ/g

	25年度	24年度	23年度	規制値
集じん灰	0.27	0.27	0.37	適用なし
炉 下 灰	0.000000024	0.000021	0.000000075	3.0以下

※集じん灰：集じん機で集められ、加熱脱塩素化処理した灰
　炉 下 灰：焼却炉の下部より排出される灰

単位の説明
- **ｎｇ**（ナノグラム）　…10億分の１グラム
- **ｐｇ**（ピコグラム）　…１兆分の１グラム
- **ＴＥＱ**（毒性等量換算値）…ダイオキシン類の中で最も毒性の強い　2,3,7,8-ダイオキシンの毒性を基準として、係数を掛けて算出した数値

周辺環境

〈大気〉　環境基準：0.6 以下　単位：pg-TEQ/㎥

	25年度	24年度	23年度
石神台西公園	0.010	0.0086	0.018
虫窪スポーツ広場	0.0089	0.0092	0.017
虫窪下田地区	0.0082	0.0072	0.018

〈土壌〉　環境基準：1,000 以下　単位：pg-TEQ/g

	25年度	24年度	23年度
石神台西公園	2.3	4.5	2.1
虫窪スポーツ広場	2.0	2.7	3.9
虫窪下田地区	16.0	34.0	16.0

〈井戸水〉　環境基準：1.0 以下　単位：pg-TEQ/ℓ

	25年度	24年度	23年度
虫窪下田地区	0.056	0.056	0.063

※数値は有効数字２桁、複数回測定のものは平均値

クールビズで涼しく！ ～期間を拡大して実施中～

地球温暖化防止対策及び節電対策の一環として、町職員のクールビズを実施しています。
今年度も期間を**5月1日(木)**から**10月31日(金)**まで拡大して実施しています。
期間中、職員は半袖シャツ・ノーネクタイ等の軽装で執務しています。

問　総務課　☎内線209

環境調査（河川・海域・大気）測定調査結果

町では、河川・海域などの水質や大気の状況を把握するため、毎年環境調査を実施しています。昨年度の各種調査結果は下表のとおりでした。

河川水質調査結果

河川名	測定地点	pH（単位：なし）		BOD（単位：mg/ℓ）		SS（単位：mg/ℓ）		n－ヘキサン（単位：mg/ℓ）	
		25年度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度
池田排水路	富士白苑付近	8.9	8.5	4.0	4.2	5.0	6.0	0.6	<0.5
三　沢　川	富士白苑付近	8.5	8.5	3.5	4.0	2.0	4.0	<0.5	<0.5
鴫　立　川	鴫立橋付近	7.9	7.9	7.0	5.5	2.0	3.0	0.5	0.5
血　洗　川	河口付近	8.0	8.0	4.7	3.2	3.0	3.0	0.5	<0.5
葛　　川	プリンスホテル付近	8.1	8.1	2.5	2.5	4.0	2.0	<0.5	<0.5
不　動　川	川尻公園付近	7.9	7.9	4.6	4.2	6.0	9.0	<0.5	<0.5
長　谷　川	スーパーヤオマサ付近	8.0	7.9	4.2	3.8	3.0	3.0	<0.5	<0.5
谷　戸　川	月京橋付近	8.8	8.4	5.4	3.4	9.0	5.0	<0.5	<0.5
金　目　川	花水橋付近	7.6	7.6	1.6	2.1	6.0	10.0	<0.5	<0.5
環境基準	―	6.5～8.5		5以下		50以下		―	

※数値は年度内平均値、<印は定量下限値未満を示す。※金目川は神奈川県がそれぞれ前年度に測定した結果です。

海域水質調査結果

測定地点	pH（単位：なし）		COD（単位：mg/ℓ）		DO（単位：mg/ℓ）		n－ヘキサン（単位：mg/ℓ）		大腸菌群（単位：MPN/100mℓ）	
	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度
中　　央	8.3	8.1	3.6	1.7	8.7	7.0	0.5未満	0.5未満	49	33
漁　　港	8.2	8.1	2.4	2.1	7.1	6.4	0.5未満	0.5未満	23	13
港　　外	8.3	8.2	3.2	1.9	8.1	7.7	0.5未満	0.5未満	49	170
環境基準	7.8～8.3		2以下		7.5以上		無検出		1,000以下	

※数値は年度内平均値

二酸化窒素濃度調査結果

※環境基準
0.04 ～ 0.06ppm までのゾーン内またはそれ以下

測定地点	単位：ppm 25年度	24年度
役場南側	0.021	0.052
図書館前	0.021	0.020
国府支所	0.026	0.027

※数値は１時間値の日平均値

※測定方法
ザルツマン試薬を用いる吸光光度法

※採取時間
12：00 ～ 翌日の 12：00 までの 24 時間

用語の解説

◎ｐＨ（ペーハー・水素イオン濃度）
溶液中の水素イオン濃度を表す記号。ｐＨは、０から 14 まであり、７が中性、７を超えるとアルカリ性、７未満が酸性となる。

◎ＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）
水中の有機物質（汚物）が一定条件のもとで微生物によって分解されるときに消費される酸素の量。

◎ＣＯＤ（化学的酸素要求量）
水中の有機物質が酸化剤によって酸化されるときに消費される酸素の量。

◎ＳＳ（浮遊物質量）
水中に懸濁している固体や浮遊固形物。

◎ＤＯ（溶存酸素量）
水中に溶け込んでいる酸素の量。きれいな河川は通常７～ 10ｍｇ/ℓ程度である。

◎ｎ－ヘキサン（ｎ－ヘキサン抽出物質）
水中に含まれている比較的揮発しにくい油状物質の量。

◎大腸菌群
人畜の排出物などによる汚れを知る尺度。

◎ｐｐｍ
濃度の単位で、100 万分の１を表す。

◎環境基準
人間の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準。

問　環境美化センター
☎(72)4438